

情報倉庫を拠点としたロジスティックの新境地。

堺市で最古の営業倉庫として創業。倉荷証券の発行に始まり、戦後は食糧を皮切りに、あらゆる業種へと取扱品目を拡大させた。昭和56年には誰もなし得なかった、コンピュータを活用した物流システム構築に着手。単にモノを保管する倉庫から、物流情報サービスを提供する情報倉庫へと、第二の創業ともいべき転身を果たしている。

阪南倉庫 株式会社



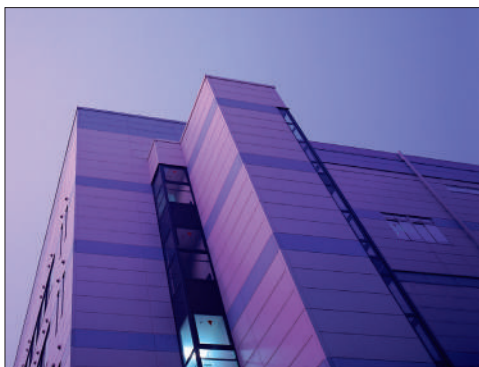
物流情報の発信拠点となるオフィス内



効率的なデータ運用と最新の設備で、顧客オーダーに対応

つくった物を売る時代から売れる物をつくる時代へ。阪南倉庫株式会社は時代の変化を察知した約35年前、情報を有効に活かしてモノの流れをコントロールするロジスティックシステムを、ハードとソフトの両面から独自に開発。「CAPSOHN (Computer Assort Picking System of Hannan Network)」の新事業コンセプトのもと、キャプソン物流情報オペレーションシステム(COS)構築に力を注いできた。また、物流情報サービスの質を高める為、顧客のカ

テゴリーを卸会社・製造会社・通販業・販促品に分類。異なるニーズを分析し物流情報サービスの品目を研究開発している。例えば通販業の場合、業者間のBtoBだけではなく、エンドユーザーにアプローチするBtoCに利用できる。今後について堀畑社長は「システムのオープン化を実現して、各社を巻き込んだ大きな仕組みに構築したい」と語る。同社が志向するヒト、モノと情報の有機的な連携は、さらに新たな物流の革新へと向かっているようだ。



代表者 代表取締役社長 堀畑 浩重
所在地 〒590-0959
大阪府堺市堺区大町西3-2-3
電話 072-232-0267
創業 大正3年
資本金 4,125万円
従業員 250名
<http://www.capsohn.co.jp>

堺技衆 認証番号

0089